

公開シンポジウム

ケアサイエンスとは何か、 その必要性を議論する

日時：平成 28 年 7 月 23 日(土) 15時—18時

場所：お茶の水女子大学 共通講義棟2号館102室

お茶の水女子大学アクセスマップ <http://www.ocha.ac.jp/help/accessmap.html>
東京メトロ丸ノ内線「茗荷谷」駅より徒歩7分
東京メトロ有楽町線「護国寺」駅より徒歩8分

参加費無料

看護学分科会では、これまでケアサイエンスについて検討を重ねてきました。
今回のシンポジウムでは、いずれもケアに造詣の深いシンポジストをお招きし、深く「ケアサイエンス」について考え、既存の学問領域を超えた新たな学問として「ケアサイエンス」を捉え、「ケアサイエンス」の必要性と可能性を多角的な視点から議論します。
多くの皆様のご参加をお願い致します。

プログラム

座長

太田 喜久子 (日本学術会議会員, 慶應義塾大学教授)

南 裕子 (日本学術会議連携会員, 高知県立大学学長)

挨拶

片田 範子 (日本学術会議会員, 看護学分科会委員長, 兵庫県立大学副学長)

シンポジスト

広井 良典 (京都大学こころの未来研究センター教授)
「公共政策、科学哲学の視点からみたケアサイエンス」

上野 千鶴子 (日本学術会議連携会員, 立命館大学大学院特別招聘教授)
「当事者学の視点からみたケアサイエンス」

西村 ユミ (日本学術会議特任連携会員, 首都大学東京大学院教授)
「看護学、現象学の視点からみたケアサイエンス」